



大 地

令和8年5月号

校長 指崎 邦久

晴れた日には、雪を頂いた海越しの立山連峰が見え、さわやかな風が頬を撫でる気持ちのよい季節になりました。先日、敷地内で掃除をしていますと数名の子供が「手伝います」と、一緒に作業してくれました。たくさんの草をほうきで集め、ごみ袋に入れてくれました。朝の慌ただしい中でしたが、てきぱきと作業をしてくれた子供たちに、窪っ子の明るく、前向きな様子を感じ、うれしく思いました。また、上級生に連れられて登校し、玄関で元気に挨拶をする1年生の姿も見られます。下校時には、「先生、さようなら」と元気に挨拶をする声が聞こえてきます。子供たちは、令和8年度の新しい環境に慣れてきているようです。

学校では、運動会へ向けての練習が始まっています。今年の運動会のテーマは「優勝目指して一致団結」です。6年生は、開会式前に行う応援コールを元気よくしようとみんなで考えています。先週、結団式を行い、各団のリーダーが自己紹介をしました。立場は人を育てると言われます。よい見本となるように、役割を果たせるように、全力で頑張ってもらいたいと思っています。また、1年生は、初めての運動会になります。どの学年も、優勝目指して全力を出し、一致団結して運動会を楽しんでもらいたいと思っています。



結団式 リーダーが並びました

オリンピックに通じる価値を

先日、オリンピック憲章を目にする機会がありました。憲章には、「オリンピックには『卓越性』『友情』『敬意・尊重』の三つの価値がある」と書かれていました。その一部を紹介します。

「卓越性」

～大切なのは勝利することではなく、目標に向かって全力で取り組むこと～

「友情」

～スポーツでの喜びやチームスピリット、対戦相手との交流は人と人とを結びつけ、互いの理解を深める～

「敬意・尊重」

～互いに敬意を払いルールを尊重することはフェアプレー精神を育む～

この三つの価値は、学校行事を通して子供たちに身に付けたい力に通じるものがあると思いました。運動会へ向けて練習して行く中で次のことを期待しています。

- 運動を通して互いの理解が深まり、仲がよくなる。
- ルールを尊重することで誰もがもつわがままな部分をコントロールする力を付ける。
- 運動会が互いに気持ちのよい人間関係を築くきっかけとなる。

運動会を通して、「頑張れた」「助け合えた」と振り返り、その先の学校生活でも運動会でできたのだからという自信をもって頑張れるように、指導していきたいと考えています。

気温の変化が大きくなることが予想されます。子供たちが元気に活動できるように、日々の過ごし方に気をかけ、声をかけてあげてください

全力を出せる生活習慣を

子供たちの話を聞いていますと、楽しいゴールデンウィークを過ごしたようです。中には、友達とゲームをして楽しかったという話も聞かれました。ゲームは楽しいもので、上手に使ってもらいたいと思っています。一方で、富山大学医学部の山田正明准教授は、娯楽目的のゲームやネットを与える、親の想像を超えるネガティブな影響が子供たちの脳に生じてしまうと語っています。

子供にとってゲームは楽しいものですが、仙台市の子供を対象に東北大学が行った調査では、娯楽目的でゲームやネットばかりをやっていた子供たちは脳が3年間で成長していなかったという結果が報告されています。それに対し、ネットやゲームをほぼ使わない子供たちは3年間で脳の体積が50 cc増加したそうです。

「遅い就寝、運動不足等の生活習慣以上に子供の長時間メディア利用に強い関連性を示したもの」が、両親のネット時間だそうです。「母親のネット利用が2時間以上の家庭には、子供の長時間メディア利用に最も強い関連性がみられました(原文ママ)」次いで、「メディア利用のルールが決まっていない家庭」「父親が2時間以上ネットをしている家庭」の順番で、子供に長時間メディア利用の影響を与えるそうです。

子供がネット・ゲーム依存にならないために次のような対策が挙げられています。

- ・両親のネット時間に気を付ける。
- ・利用に関する家庭のルールを作る。
- ・平日は、娯楽のネット・ゲーム利用を1～2時間にとどめる。

久里浜医療センターは「ゲームを始める年齢が遅いほど、ゲーム依存症になる割合が低い」としています。分別がついてからゲームをすれば、コントロールしやすいということでしょうか。

子供たちには、必要なときに全力を出せるように生活を整えて、豊かな体験を重ねてもらいと願っています。

優勝目指して一致団結

運動会へ向けて、赤、青、白団の団長さんにインタビューをしました。それぞれの団はどのような団か、団長としてどのようなことを頑張りたいか話を聞きました。(原文ママ)

赤団団長

○赤団は、元気な人が多い団です。赤団として、他の団と比べても一番大きな声を出して、みんなで協力して優勝したいです。団長だからこそ大きな声を出して、みんなも大きな声を出せるようにして、団をまとめて優勝に導きたいです。



白団団長

○白団は、力が強そうな人や足が速そうな人が多いです。白団として、やる時はしっかりやっけていろいろなことに挑戦したいです。例えば、綱引き等で1位になりたいです。団長として、1～6年生が一生懸命にできるように、しっかりまとめていきたいです。



青団団長

○青団は声が大きな人がいっぱいいます。青団として、足が速いと思うので走る競技を一生懸命に頑張りたいです。綱引きもがんばりたいです。団長として声をいっぱい出して、他の団だけでなく家の人にも強い団だと思わせたいです。



団長さんは、団の特徴をよく分かっていました。運動会へ向けて、団のよさを生かしながら、一致団結して、優勝を目指しましょう。